

**令和8年度  
地方部における観光コンテンツと  
ローカルガイド人材の一体的な質的向上事業  
公募説明会**

**令和8年4月3日**

**観光庁 観光地域振興部 観光資源課**

# 本日の内容

1. 有識者会議
2. 地域公募
3. 質疑応答

# 1. 有識者会議

# 地方部における観光コンテンツの充実のための ローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた有識者会議

- インバウンドの地方誘客・観光消費額向上に向け、我が国の魅力を生かした訴求力の高い体験商品の更なる造成が不可欠である一方、体験商品の販売に不可欠なローカルガイドの確保が困難であることを理由に、造成した体験商品の販売に至れないケースや催行日数が限られているケースが少なくない。
- このような状況を踏まえ、ローカルガイドの持続的な確保・育成が、地方部における体験商品の充実に向けた重要課題と位置づけ、令和6年5月に有識者会議を立ち上げ。
- 人材が限られる地方部において、ローカルガイド人材を無理のない形で持続的に確保・育成し、観光コンテンツの持続的な供給や地域消費の向上へ結びつけるために、地域レベルでどのような取組やビジネスモデルが必要か検討。

委員名	所属
アレキサンダー・ブラッドショー	合同会社GOTOKU 代表
江崎 貴久	有限会社オズ 代表取締役
岡本 岳大	株式会社wondertrunk & co. 代表取締役共同CEO
佐々木 文人	株式会社羅針盤 代表取締役
白石 実果	株式会社M&Company 共同代表 JAPONISME ガイド
鈴木 康裕	MagicalTrip株式会社 会長・ファウンダー ライブラ株式会社 代表
多田 稔子	一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事
平林 知高	EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 ストラテジックインパクト パートナー 多摩大学大学院 客員教授
村山 慶輔	株式会社やまごころ 代表取締役
矢ヶ崎 紀子 (座長)	東京女子大学現代教養学部経済経営学科 教授
山田 桂一郎	JTIC. SWISS 代表 和歌山大学観光学部 客員教授



# 地方部における観光コンテンツの充実のための ローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた有識者会議

令和6年5月

## 有識者会議設置

人材に限られる地方部において、ガイド人材を無理のない形で持続的に確保・育成し、体験型コンテンツの持続的な供給や地域消費の向上へ結びつけるために、地域レベルでどのような取組やビジネスモデルが必要かを検討

令和6年7月

## 中間とりまとめ公表

ローカルガイドを取り巻く現状と課題、目指すべき方向性、今後進めるべき取組、ローカルガイド人材の持続的な確保・育成に向けた取組の必要性等、全体的な概況や方向性を整理

令和7年3月

## 令和6年度とりまとめ公表

地方部における体験商品の充実に向け、特に体験商品の担い手となるローカルガイドの裾野を拡大し、需要に確実に対応できるようにしていくことを、まず取り組むべき課題として設定。地域において取り組む際の戦略・取組の方向性を整理

令和7・8年度

## 実証事業

実証事業を通して知見を整理し、とりまとめで整理した課題や取組方針について有識者会議で検証。プロセスとノウハウを全国各地に横展開し、地方部における観光コンテンツとローカルガイド人材の一体的な質的向上、持続可能な確保・供給を全国に推進

# 有識者会議 令和6年度とりまとめ（概要） ～現状と課題～

## ローカルガイドの不足状況

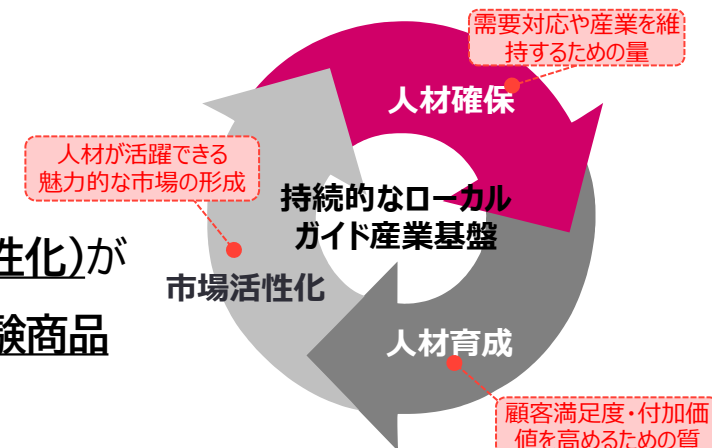
- ・ インバウンドの需要に応えるだけの供給ができておらず、質・量ともに不足。地域におけるローカルガイドの需要・供給に係る実態の把握不足も。
- ・ 高齢化と後継者(若手)が不足。そもそも地域人材の不足が深刻な状況、次世代育成・教育や移住・定住との連携も必要。

## ローカルガイドをとりまくサプライチェーンの状況

- ・ 旅行者とガイドの間に、海外募集機能、国内募集機能などを担う多くの主体が介在。ガイドの負担軽減や顧客満足度の向上のためにはサプライチェーン上の主体間の円滑な連携が重要。
- ・ 地域においては、地域のDMC等と魅力的なローカルガイド等の間をコーディネートできる人材とこれら主体間の連携が重要。

## 取組を進めるに当たっての課題

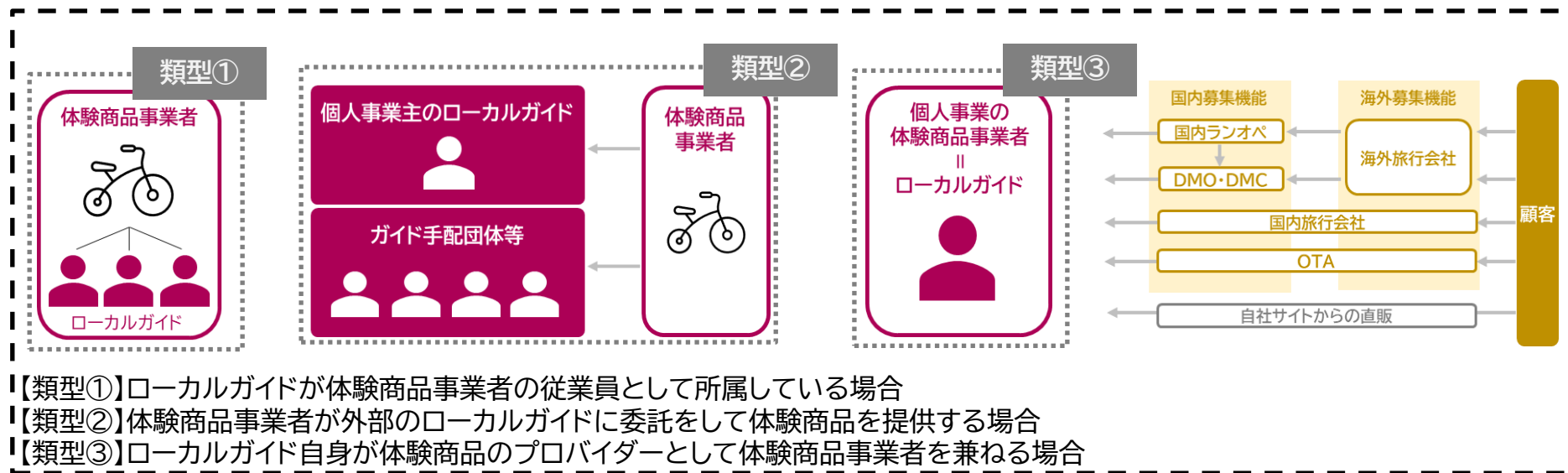
- ・ これまでの取組では入口戦略(人材確保・育成)と出口戦略(市場活性化)が必ずしもバランスよい取組となっておらず、持続的な人材確保や体験商品の販売に繋がっていない状況。



# 有識者会議 令和6年度とりまとめ（概要）

## ～地域における戦略・取組の方向性（共通事項①）～

体験商品事業者とローカルガイドの関係を整理。体験商品の充実化、また、担い手の裾野の拡大の観点から類型①②を拡大させていくことを想定して整理。



### 【基本的な考え方】

- ・ 入口戦略と出口戦略の双方を見据えたバランスの良い取組
- ・ ローカルガイドが安心してガイド業を担っていける『ガイドファースト』な取組
- ・ 観光庁事業における地域における戦略・取組の方向性の実証とモデル構築

**【観光コンテンツの商品としての磨き上げ】** ローカルガイドの持続的な確保・育成に取り組む前提。まず優先的に取り組むことが必要  
体験商品の造成・磨き上げを行う際に必要な視点：

- ・ オペレーション工数の整理、プライシングの合理化、販売戦略の磨き上げ、即時予約への対応、収益確保の工夫
- ・ 起承転結が意識されたストーリー性のある台本、ガイディング以外の業務負担を減らす工夫
- ・ 体験商品事業者側とローカルガイド側双方の視点による体験商品の企画 など

# 有識者会議 令和6年度とりまとめ（概要） ～地域における戦略・取組の方向性（共通事項②）～

【入口戦略】 初心者でも働くことができる環境の整備

## I. ローカルガイドという職業の認知の向上

- 職業のイメージ・魅力等の訴求
- 気軽にガイド業に携わることができる環境構築
- 学生等の活用や体験機会の創出。関係人口拡大の観点からの取組

## II. 地域のポテンシャル人材の有効活用

- ボランティアガイド、観光業従事者、在外経験者、家族への帯同によって一時的に滞在している方、関係人口 など

## III. 稼ぐ力のあるローカルガイドとするための実践的な育成

- 必要なスキルや資質  
売上額や商品・評価の向上への貢献への意識  
キャリアアップを見据えた場合の経営面に関するビジネススキル 等
- ローカルガイドがスキルを磨く実践的な場の提供  
エントリーモデル  
ステップアップに応じた商品の多層化 等

# 有識者会議 令和6年度とりまとめ（概要） ～地域における戦略・取組の方向性（共通事項③）～

【出口戦略】 ガイドが安心して就労できる環境が整備され、生計が立つことが重要

## I. ローカルガイドが安心して就労しやすい体制の構築

- 地域や体験商品事業者による活躍の場の創出
- 地域のローカルガイドを集約し対外調整を一元化するガイドDMC等の組織構築 など

## II. 安定的な需要づくり①:観光コンテンツの商品としての磨き上げ

## III. 安定的な需要づくり②:ガイドの供給の可視化と共有

- 対応可能な体験商品・稼働状況等のローカルガイド情報の可視化
- 情報の広域的な共有
- 導入効果、維持コスト等も踏まえた戦略的なシステム導入(DX化)

## IV. 繁閑差を克服する就労先の創出・確保

- 他地域との連携による活躍の場の広域化
- 活躍の場の複層化(ドライバーなどとしてのオフシーズン就労 等)
- 知見を生かしたガイド業以外での活躍の場の多角化(商品造成、プロモーション、人材育成への参画等)

# 有識者会議 令和6年度とりまとめ（概要）

## ～今後の課題～

- 実証事業による本とりまとめで整理した課題や取組方針に係る検証
- 有識者会議において指摘された、以下の点などの検討課題についての実証事業の結果等も踏まえた継続的な検討
  - ・ ローカルガイドの職業としてのロールモデルの提示
  - ・ 地域セグメントに応じた取組の進め方
  - ・ ガイド対象などの特性に応じた課題
  - ・ 主体間の効果的な連携方策や役割
  - ・ 地域におけるガイドの品質管理のあり方
  - ・ 安全管理に係る考え方や対応
  - ・ ガイド報酬の設定・評価制度等のあり方
  - ・ 有効なガイド情報の可視化
  - ・ 持続可能なマッチング機能の構築

## 2. 地域公募

# 応募にあたっての留意事項

## **！ 補助金・交付金ではありません**

- ・国の調査事業の一環として行うもので、この調査に要する経費を国費により負担するもの
- ・必要に応じて専門家による事業内容等のコーチング（改善指導等）を取入れ  
→選定過程や選定後において、実証事業の内容を申請内容から変更する可能性  
申請内容等のおり実証を行うとは限らない

## **！ 有識者会議「令和6年度とりまとめ」を読んでから応募してください**

- ・令和6年度とりまとめを踏まえた実証事業  
→令和6年度とりまとめを踏まえて実証事業の内容を検討のうえ応募

## **！ 「人材確保」「人材育成」「継続的に活躍できる仕組みづくり」の一貫性がないものは対象外です**

- ・具体的な観光コンテンツを想定して育成し、その観光コンテンツにおいて育成したガイドが稼働できる体制を整備

# 地方部における観光コンテンツとローカルガイド人材の一体的な質的向上事業

## 目的・概要

- 地域の魅力を伝えるローカルガイドは、観光コンテンツの付加価値を高めるとともに、旅行者の満足度を高め、持続可能な観光地域づくりを支える存在として重要な役割を担っている。また、ガイドに対する旅行者の満足度は、観光コンテンツに対する全体の満足度・評価につながる場合も多く、継続的な観光コンテンツの販売の観点からも、地域の魅力をしっかりと伝えられるローカルガイド人材の確保は重要。
- このため、地方部において、旅行者の満足度・消費単価の向上や、地方誘客の促進に向け、観光コンテンツと、これを担い地域の魅力を伝えるローカルガイド人材の一体的な質的向上と持続可能な確保・供給に総合的・戦略的に取り組む実証事業を通して、必要な取組について調査を行い、知見を整理する。

## 主な事業内容

観光コンテンツとローカルガイド人材の一体的な質的向上と持続可能な確保・供給のために必要な取組について、モデル地域を選定のうえ実証・調査を行い、知見を整理。

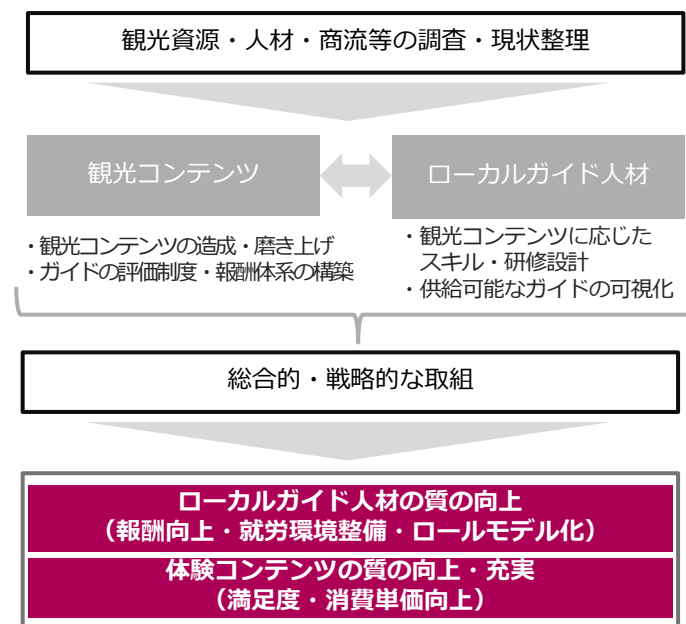
(地域において想定される取組内容)

- ・観光コンテンツに応じたスキル・研修設計
- ・ガイドの評価制度・報酬へ反映する体系の構築
- ・供給可能なガイドの可視化、コンテンツとガイドのマッチングシステムの検証等
- ・実践的研修の実施 等

(モデル地域の実施主体) 民間事業者、DMO、地方公共団体等

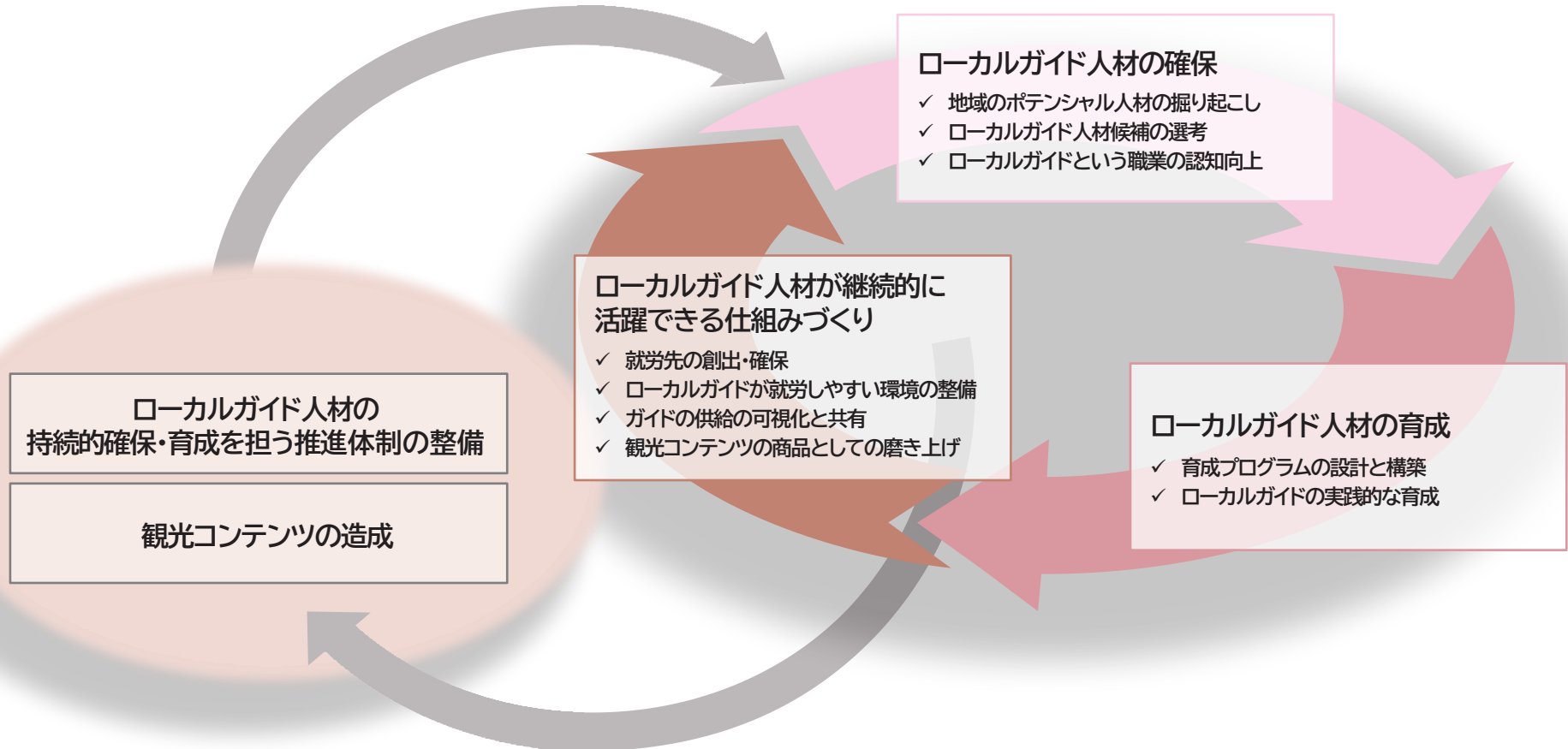
※1地域あたり1,500万円×15地域程度を想定

## イメージ



# 事業の趣旨

特に地方部において、観光コンテンツと、これを担い地域の魅力を伝えるローカルガイド人材の**一体的な質的向上と持続可能な確保・供給（「人材確保」「人材育成」「継続的に活躍できる仕組みづくり」）**に総合的・戦略的に取り組む



ガイドを産業として地域が支えていく視点で、ローカルガイドが安心してガイド業を担っていける**「ガイドファースト」**な取組

# 事業の流れ

## 申請時

ローカルガイドの現状・課題や地域の目指すべき姿に照らし、ローカルガイドの施策の方向性について整理

## 事業期間中

地域関係者、観光コンテンツ事業者及び体験商品の募集機能を担う者等の関係者が一体となって、観光コンテンツと、これを担い地域の魅力を伝えるローカルガイド人材の一体的な質的向上と持続可能な確保・供給（「人材確保」「人材育成」「継続的に活躍できる仕組みづくり」）に総合的・戦略的に取り組む

## 令和8年度末

- 実証事業を通して知見を整理
- 有識者会議とりまとめで整理した課題や取組方針について有識者会議で検証
- プロセスとノウハウを全国各地に横展開
  - ⇒ 地方部における観光コンテンツとローカルガイド人材の一体的な質的向上、持続可能な確保・供給を全国に推進

# 実証事業の推進体制

コンソーシアム(組織、団体又は協議会等)

地域関係者

地方公共団体

DMO

観光協会等

連携

体験商品の募集機能を担う者

国内募集機能

海外募集機能

国内ランオペ

海外旅行会社

DMO・DMC

国内旅行会社

OTA

など

観光コンテンツ事業者

連携

連携

：単独の主体で申請する場合は、他の主体との連携体制が明確であり、地域関係者、観光コンテンツ事業者、体験商品の募集機能を担う者のいずれとも連携

対象外

**事業の根幹を担う部分**（企画、とりまとめ、進捗報告等）が、**事業実施地域を活動拠点とする事業者により行われる推進体制にないもの**

# 実証事業の内容

- 観光コンテンツとローカルガイド人材の一体的な質的向上と持続可能な確保・供給に向け、「人材確保」「人材育成」「継続的に活躍できる仕組みづくり」に取り組み、特に「継続的に活躍できる仕組みづくり」について重点的に取り組む  
※その際、具体的な観光コンテンツを想定して育成し、その観光コンテンツにおいて育成したガイドが稼働できる体制を整備
- さらに、ローカルガイド及び訪日外国人旅行者の安全を確保するための安全管理に係る考え方や対応を整理

## 対象外

「人材確保」「人材育成」「継続的に活躍できる仕組みづくり」の一貫性がないもの

育成と具体的な稼働機会が連動しないもの

- (例)
- ・研修は行うが、育成したガイドに対し、具体的な観光コンテンツヘアサインされる機会を設定しない
  - ・既存の観光コンテンツの紹介のみに留まる

# 実証事業において特に求める取組

## インバウンド需要が一定ある地域／ガイドとなるポテンシャル人材が豊富な地域

- ・複数事業者や地方公共団体等と連携した地域のルールづくりや品質担保
- ・エントリーモデルからのステップアップ  
(エントリーモデルとカスタムツアーなどレベルの異なる観光コンテンツの組合せによる育成やキャリア形成を含む)
- ・ローカルガイドと観光コンテンツの持続的なマッチングや供給の可視化、就労先の確保

## インバウンド需要が少ない地域／ガイドとなるポテンシャル人材が限られる地域

市場性が低い、又はエントリーモデルに依りがたい等の制約のもとでも、

ローカルガイド人材を育成するとともに、育成したガイドの観光コンテンツでの稼働機会を担保する取組

# 観光コンテンツの留意事項

## 実証事業で新たに造成した観光コンテンツ

令和8年中（令和8年12月31日まで）に販売開始

## 実証事業以外で造成した販売中の観光コンテンツを活用

### 申請時に販売実績を分析

※販売実績が少ない場合はその要因を分析し、改善することが必要

※令和7年度事業の採択地域においては、令和7年度事業で造成した観光コンテンツも活用可能

## 対象外(再掲)

「人材確保」「人材育成」「継続的に活躍できる仕組みづくり」の一貫性がないもの

育成と具体的な稼働機会が連動しないもの

- (例)
- ・研修は行うが、育成したガイドに対し、具体的な観光コンテンツへアサインされる機会を設定しない
  - ・既存の観光コンテンツの紹介のみに留まる

# スケジュール（申請～事業開始前）

公募期間：令和8年3月30日（月）～ 4月28日（火）14時（必着）

質問受付：令和8年3月30日（月）～ 4月21日（火）17時（必着）

オンラインヒアリング（該当地域のみ）：令和8年5月下旬 予定

採択事業公表：令和8年6月中旬 予定

地域説明会：令和8年6月中旬 予定

事業内容調整・事務局との契約・事業開始：令和8年6月下旬 又は 7月上旬 予定

事業完了・精算報告：令和9年2月5日（金）

※オンラインヒアリング～事業開始のスケジュールは、状況により変更の可能性あり  
※別途、コーチ・事務局・観光庁による定例打合せ・現地確認、キックオフミーティング・  
中間報告会・成果報告会（取組・成果発表）等

# 応募申請書等の提出

- ・ 様式 1 応募申請書
- ・ 様式 2 実証事業の計画
- ・ 様式 3 必要経費の内訳
- ・ 事業概要説明書

ワード形式により作成し、PDF形式にて提出  
(定款等がある場合はPDFに定款等も添付)

パワーポイント形式により作成・提出

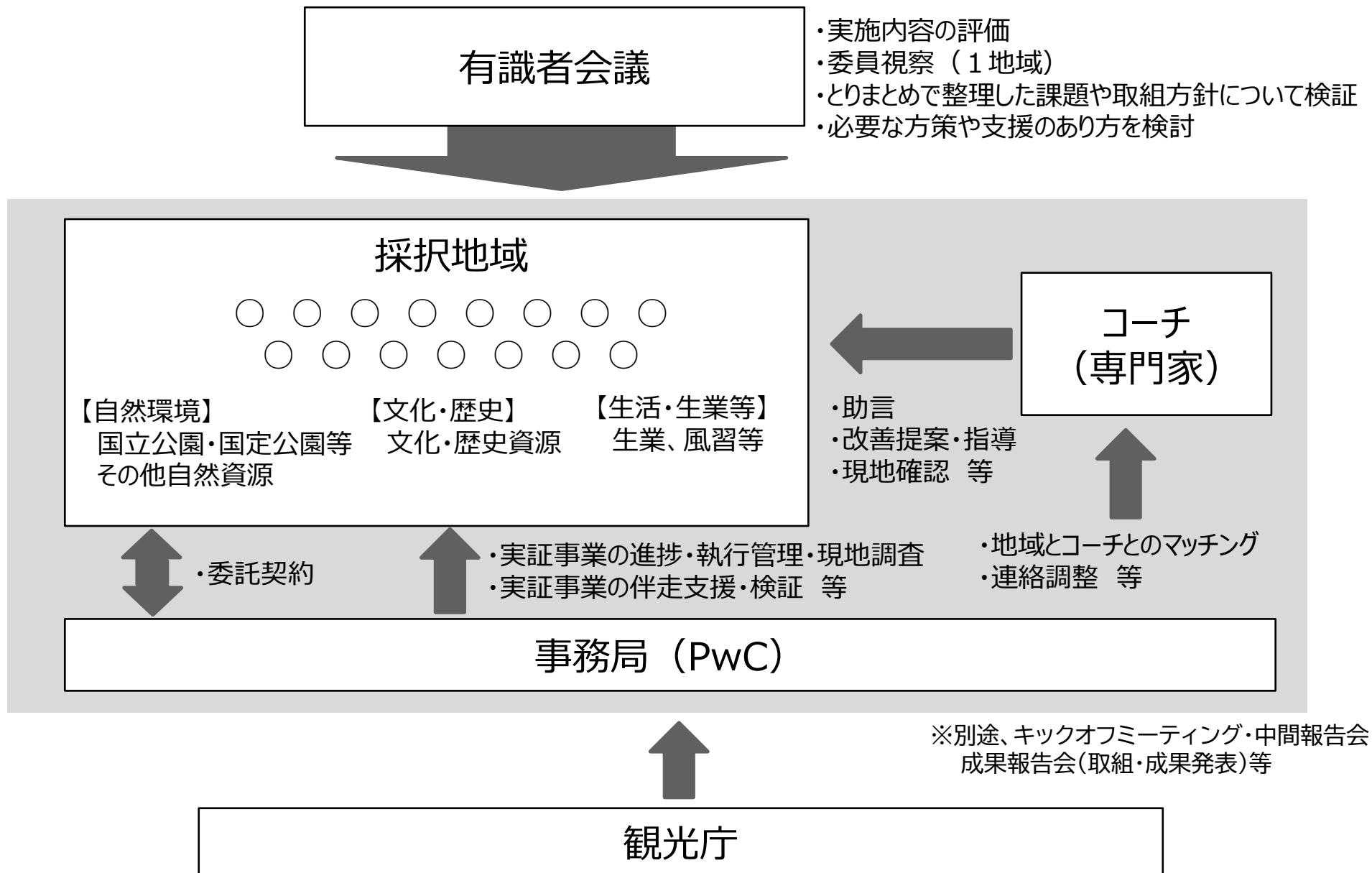
**提出期限：4月28日（火）14時（必着）**

**提出先：観光庁 観光地域振興部 観光資源課 自然資源活用推進室**

**[hqt-local-guide\\_soft@ki.mlit.go.jp](mailto:hqt-local-guide_soft@ki.mlit.go.jp)**

**提出書類のほか、申請登録フォームにより必要事項を回答**

# 採択後の流れ



# スケジュール（事業完了）

公募期間 : 令和8年3月30日（月）～ 4月28日（火）14時（必着）

質問受付 : 令和8年3月30日（月）～ 4月21日（火）17時（必着）

オンラインヒアリング（該当地域のみ） : 令和8年5月下旬 予定

採択事業公表 : 令和8年6月中旬 予定

地域説明会 : 令和8年6月中旬 予定

事業内容調整・事務局との契約・事業開始 : 令和8年6月下旬 又は 7月上旬 予定

**事業完了・精算報告 : 令和9年2月5日（金）**

※オンラインヒアリング～事業開始のスケジュールは、状況により変更の可能性あり  
※別途、コーチ・事務局・観光庁による定例打合せ・現地確認、キックオフミーティング・  
中間報告会・成果報告会（取組・成果発表）等

## 3. 質疑応答